



3年学年だより

発行日:令和7年 5月30日(金)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:二上 直子 NO. 2



MINAMI

継続は力なりとはいうものの…

副校長 本江 聡美

いつの間にか春が去り、夏の訪れを感じる季節となりました。昨年より1か月早い合唱コンクールのため、昼休みに放課後にと、校内に歌声が響いています。6月12日の合唱コンクールがとても楽しみです。申し遅れましたが、今年度も副校長を務めます本江(ほんごう)です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、大型連休が終わり、6月は開港記念日以外に祝日がありません。そして、進級・進学時に張り切っていた気持ちに、慣れや疲れが見えてくる時期でもあります。特に中学校1年生にとっては、50分授業、7時間授業、標準服での登校、電車通学、部活動など、大きな環境の変化がありましたので、一段と強く疲れを感じているかもしれません。4月は目標を立てて、頑張っていたことを続けることができない…そんなことに悩んでいる人もいないのでしょうか。

古代ギリシアの哲学者アリストテレスは「人は習慣によってつくられる。優れた結果は一時的な行動ではなく、習慣から生まれる。」との名言を残していますし、ことわざの「継続は力なり」と同じようなことばは世界各地にあるようです。その一方で、「三日坊主」ということばがあるように、「継続」することに悩んでいる人も世の中にたくさんいます。(私もその中の一人です。)継続するためのポイントはいろいろあるそうですが、本江のおすすめは2つあります。

①まずは小さな目標から！一歩ずつ！

例えば、運動の習慣がまったくないのに、「毎日100回腹筋する」のように、達成するために大きな努力が必要な目標(大きな目標)を立てていませんか？「毎日10回」ではどうでしょうか。ぐっと取り組みやすくなった気がしませんか。まずは、少しの努力で達成できる目標(小さな目標)を立てしっかり習慣化しましょう。「毎日10回」が習慣化した人は、「毎日15回」「毎日20回」など徐々に時間を伸ばしていけば、「毎日100回」の達成につながっていくことでしょう。このように、目標を「高跳び」ではなく「階段」にして、少しずつ達成していくことをおすすめします。

②「できなかった日」→「お休みの日」

できない日があったとき、そこで諦めてしまったことはありませんか？そんなときは思考の転換！「できなかった日」ではなく「お休みの日」として、休んでしまいましょう。そして、また始めればよいのです。一日できなかったからといって、それまでのすべてが無になるわけではありませんから。

ちなみに、みなさんはちゃんと休んでいますか？「休む」とときには、休むことに専念することも大切なようです。中途半端に休むのではなく、「休むと決めて休む」とよいそうです。

合唱コンクールに向けて

令和7年度「合唱コンクール(中高合同)」が6月12日(木)に実施されます。会場は「横浜みなとみらいホール」中学生は午前、高校生は午後を実施されます。

合唱コンクールは特別活動の中でも大きなウェートをしめてきた行事であり、「個を大切にしたい一体感のある学級集団作り」を目指し、昔から多くの学校で取り組んできました。

今年度も練習期間を含め、学校中に美しい歌声が響き渡り、大いに盛り上がってくれることでしょう。特に中学校最後のコンクールとなる3年生の皆さんの熱き思いは、計り知れないものがあるでしょう。各クラスの今後の取り組みが楽しみです。



<各クラスの指揮者、伴奏者、曲目>

3年1組

指揮者	伴奏者	曲目
さん	さん	十字架の島
「十字架」と書いてクルスと呼びます。長崎県玄界灘の黒島というキリシタンが迫害された歴史を持つ島について、つくられた曲です。 「隠れキリシタンに寄せて」というサブタイトルもついているそうです。 この曲は激しい部分と静かな部分が見事に複合され「ウォー」という叫び声や直後の讃美歌への移り変わりが印象的な曲です。		

3年2組

指揮者	伴奏者	曲目
さん	さん	はじまり
人間の営みの象徴といえる畑から、川、森、地平線、雲、星と地球・宇宙規模の事象へとスケールアップしていき、人間のちっぽけな悩みや欲求など意に介さぬかのように、悠然と回り続ける地球と、自然の雄大さが描写され、ドラマチックな流麗な心揺さぶる曲です。少年少女にいつまでも純粋な気持ちでいてほしい…。そんな思いが込められている曲です。		

3年3組

指揮者	伴奏者	曲目
さん	さん	蒼鷺
北海道の雄大な自然の美しさと生命の尊さを歌った曲です。青鷺という鳥を通じて、自然との調和や生命の儚さを表現しています。 「風は過ぎる 季節は移る だが青鷺は動かぬ 奥の底から魂が羽ばたくまで 痩せ細り風に削られ許さぬ枯骨となり 凍った青い影となり動かぬ」 誰も心の心に染み入る歌詞です。		

3年4組

指揮者	伴奏者	曲目
さん	さん	ひとつの朝
1978年、1984年の2度にわたって NHK 全国合唱コンクールの高校課題曲になった名曲です。「旅立ちを決めたひとつの朝」目の前にあるのは希望だけでなく、困難や悲しみも…それに立ち向かう強さを持つことが大切…。生きることとは何か、前向きに頑張ろうという気持ちにさせてくれる曲です。		

合唱の順番は 中学2年生 → 3-1→3-4→3-3→3-2 →中学1年 →高校生

沖縄研修旅行実行委員会 始動！

10月3日(金)～6日(月)に実施予定の「中3沖縄研修旅行」にむけて、5月19日、第1回実行委員会が行われました。メンバー確認(自己紹介)、委員長・副委員長決め、研修旅行の内容確認など議事が進められるなか、メンバーも期待と緊張感の中、研修旅行のスタートが切られました。

更に28、29日の委員会では「委員会目標&研修旅行の目標&スローガン決め」も行われました。実行委員とともに素敵な研修旅行を学年みんなでつくり上げていきましょう。



<メンバー>

■ さん	■ さん	■ さん	■ さん
■ さん	■ さん	■ さん	■ さん
○ さん	■ さん	■ さん	○ さん
■ さん	○ さん	■ さん	◎ さん

◎委員長 ○副委員長

<スローガン>

「Re Spect Re Quest」

互いに尊重し合う 周りを見渡す
挑戦し続ける 何回でも



EGG ゼミ 卒業研究「アドバイザー面接」

EGG ゼミの集大成、「卒業研究」。

3年間で培った課題発見・解決能力・論理的思考力と様々なスキルを活用し、個人で研究に取り組み、論文の形でまとめ、発表会でプレゼンテーションを行う…。

現在3年生は昨年度後半から、自らの研究課題を検討し、何度も研究計画書を練り直し、いよいよ5月初旬から、個々の担当教師(学年は問わず)との「アドバイザー面接」に臨んでいます。

研究の方法や内容、アンケート調査・インタビュー計画などに対して、貴重なアドバイスをいただき、自らの研究に活かしてあげることと思います。

